

戦没者の めい福を祈り



献花を行う参列者の皆さん

春季戦没者追悼式

笠松町春季戦没者追悼式が4月28日、笠松・松枝・下羽栗の各地域の会場でしめやかに行われました。

式には戦没者の遺族の皆さんや関係者の方々が多数参列され、町長が「太平洋戦争の終結から70年の節目を迎え、戦後に生まれた世代が大半を占める今、戦没者の方々が尊い命をもって示された戦争の悲惨さと平和の尊さを風化させることなく、未来を担う子どもたちに継承していかなければなりません。住民の皆様の生命と財産を守るため、災害に強いまちをめざし、防災・減災事業に積極的に取り組み、安心して暮らせるまちづくりに全力を傾注してまいります。」と式辞を述べました。

続いて岐阜県知事代理、田中県議会議員、船橋町議会議長の追悼の言葉のあと、参列者が献花を行い、戦没者のめい福を祈り、平和への誓いを新たにしました。

かさまつの 文化・芸術・学習の 成果を一堂に



生け花の造形作品と陶芸作品

「輪」をテーマに文化フェスタ

5月16・17日、中央公民館で町文化協会による“かさまつ文化フェスタ2015”が「輪」をテーマに開催されました。

作品展示部門では、油絵・水彩画・水墨画・写真・書・短歌・俳句・川柳・生け花などの作品を14団体、ステージ発表部門では、日本舞踊・民謡・大正琴・詩吟・コーラスなどの19団体の展示・発表合わせて約370名の会員が、町民の人生を充実させることを目的とし、披露しました。

観覧された皆さんは、展示作品の素晴らしい出来栄に感心し、ステージ発表では、会場が一体となり大いに盛り上がりました。

迅速な消火活動は 日ごろの訓練から



訓練を行う笠松町消防団員

町消防団訓練

5月8・9日、笠松競馬三角駐車場で町消防団が、羽島郡広域連合消防本部職員の指導を受けて訓練を行いました。

当日は、人員服装点検・分列行進など消防団員としての規律を習得する規律訓練が行われました。

日ごろ仕事を持っている消防団員の訓練は仕事を終えた夜間や休日に行われています。「わがまちを災害から守る」使命感をもって、火災現場での機敏な行動、迅速な消火活動を行うため、団員らは真剣な面持ちで訓練に励んでいました。